



心にゆとりを持てる暮らしを

明けましておめでとーございます。

皆様には、健やかに二十一世紀をお迎えになつたことと存じます。

社友会広島支部会員も、年々増加し昨年十一月には、九州分会を含め一〇〇を超えました。

この間支部行事も方針通り推進し、各同好会もリーダーの努力もあって、活発に活動を続けています。

ご存知の通り、社友会室は月・水・金曜日は解放しており、日直担当が対応しています。

来室者もつばらの話題は、健康のこと、友人の消息のこと、そして会社の近況などお互いの旧交を暖め楽しい一刻を過ごして頂いています。

混乱のまま迎えた新世紀、否応なしに歩み寄ってくる高齢社会、問題を抱えながらの介護保険のスタートなど、高齢者向けの政策が後手後手になっていることは、誰もが認めています。

シャープ社友会  
広島支部会報  
ひびき 第17号  
平成13年1月1日  
発行人 山田 順

1面	春夏秋冬
2面	秋の旅ア・ラ・カ・ル・ト
3面	HOW DO YOU DO
4面	会社との懇談会
5面	地震お見舞い御礼
6面	社友短信
7面	
8面	

社友会広島支部長 山田 順



地方都市や市町村の地域全体で、老人の面倒をみる習慣の根付いているところ、老人クラブなどが充実しているところ、都市部でも地域で昔ながらの行事が残っているところは、老人の出番も多いでしょう。

しかし、『隣は何をする人ぞ』のようなどころでは、定年男性は行き先もなく、「濡れ落ち葉」や「わしも族」になってしまっています。

病院の待合室がサロン化しているという話もむべなるかなです。「年を取ったら生きるスピードはゆっくりの方が良い」、こんな記事を見たことがあります。昔から「急がば回れ」という格言もあります。

この老人は道路を渡るとき、歩行者信号が点滅を始めるとけっして渡りません。ほとんどの人は小走りに渡って行きますが、彼は「もう危ないから次を待とう」と立ち止まります。

急いでいるのにどうして、と聞くと「もし事故にあったらもっと時間がかかるでしょう」といいます。

車を運転していて、赤信号が続くと損をした

気持ちになります。交通事故から守ってこれていると思えば、腹も立ちません。年をとると、肉体は確実に衰え、自分の思い通りにならないこともしばしばです。定年後の生活は、現役の頃とは比べものにならないゆるやかなものです。その、穏やかな時間の流れを楽しむことがゆとりです。時間の流れ方が変わったことを受け入れて、日々生きることも豊かな生活にほかなりません。広島支部も、創生・揺籃期から育成・成長期に入りました。今後益々の発展と、豊かな生活のために会員皆様の手で、広島支部をしっかりと支えて下さる事をお願いいたします。

趣向をかえて湯つたりと  
21世紀開幕 社友会・紅葉会合同  
2001年 新年会

と き 1月20日(土) am11:30 開会  
と ころ 長寿村(広島市安佐南区)  
会場へ直行の方は am11:時頃までに  
送迎バスを利用の方は am9:20までに第3工場へ

会 費 男性 6,000円  
女性 5,000円

送迎バス社内及び  
当日会場受付

その他 新年会は、パジャマ又は浴衣に着替えて  
会場へお集まりください。

# 秋の旅行 ア・ラ・カ・ル・ト

旗松亭に泊まって 温泉と荒磯料理を楽しむ旅  
確かに料理は噂以上に堪能しました



- ◇ スケジュールにもう少し余裕が欲しかった。
- ◇ いささか買い物ツアーめいたが十分楽しんだ。

要約すれば、こんな感想でしたが次回の企画にはさらに楽しさを加味します。ご一緒しましょう。

□平戸大橋を渡りきる直前にバスの運転手さんが言いました。「写真撮るならここ。橋を背景に絶好のビューポイント」ガイドさんもしささか慌てて、「止まりましたか。」

そこで写したのが、左の集合記念写真。太陽が沈む直前でした。

□有田町では、有田焼窯元を見学。有田焼のベースは白磁と柿右エ門に始まる色絵が美しい。

素人目にも、こりやいやと値札を見たら手を出せませんでした。



見るだけならタダなんです、ここでしか買えないわけじゃなし。次の機会に譲りました。

□1日目の昼食は、弁当を古賀SA(福岡県)で摂りました。天気も良くて、ベンチに座ってピクニック気分でした。



九州自動車道 古賀サービスエリア

□私が座ったバスの席は、一段高くなった運転手さんの真後ろ。何気なく見ていたら、何か

変。速度計の最大目盛は120km。ところが、針は振り切れて止まっていた。

□旅館に着いたら、その足で四方公園へ。F・ザビエルの来渡400年記念碑や、三浦按針とウイリアム・アダムの石碑などがあり、平戸瀬戸を一望することができました。

□よくあることですが、山の斜面に建てられた別棟があると、現在自分が何処にいるのか判らなくなる場合があります。食事の会場に行くとき、二つの浴場に行くときのそれぞれで、現在地掌握に失敗しました。

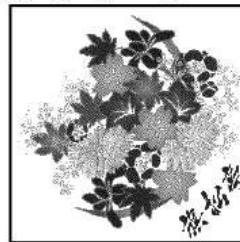
□食事は、満足。蛇足にも思えたが、献立の由来や素材の解説に、わざわざ会場に調理の責任者が足を運ぶ



のも、客への心遣いか。ホホウ！この鰻鮓らしきものは、白身の魚のすり身でござるか。

□これも、旅館側のもてなしの一つでしょう。

コスター(左)と箸袋(下)



調理担当の男性従業員数名による「手おどり」を見せてもらいました。

九州各地に残る民謡を、ごちゃ混ぜにした伴奏を背に、手振りだけで踊るもので、どうもこの旅館のオリジナルのようでした。

□ご希望の方はどうぞ、とロビーで行われるイベントの案内がありました。

それは楽しみだ、ということでお腹は満腹・アルコールもほどほど・カラオケもそこそこで、お開きにしました。

# 旅行メモ

参加人員 34名  
 旅 程 11月14日(火)～15日(水)  
 am7:30(発)～翌pm6:50(着) 延べ35時間20分  
 走行距離 984km  
 通行道路 山陽自動車道・中国自動車道・九州自動車道・長崎自動車道・西九州自動車道  
 R204・R202・福岡前原道路・R201など

□長崎市・諏訪神社の、奉納竜踊り(じやおどり)は、重要無形民族文化財であり、あまりに有名。その本物を観たことはいが、ただ圧倒され前座の太鼓が霞んで見えた。

照明が切り替わったことで、終了したことに気付いた。しばし、拍手なり止まず。



玉が飛ぶ。竜頭が跳んで追う。胴がそして、尾が疾る。一糸乱れぬ足運と呼吸。



バスガイドさんによると、アニュアルには「もってこい！」と声をかけるそうだが竜踊りは、重労働に見えた。



この竜踊りもまた、旅館従業員で構成するそう。終了後、部位担当それぞれ、旅館内役職と氏名が紹介されていたが、さもありなんと思った。

□翌朝、まだ明けやらぬうちに目がさめた。船のエンジン音に混じって、なにやら雨だれの気配がする。

昨夜、カラオケで誰やら『長崎は今日も雨だった』と歌っていたのを思いだし、朝風呂に浸かった。

□雨のおかげで、出発前に予定した周辺の散策も、中止。昼食の終わる頃まで続いた雨



小雨の中、鏡山展望台での記念写真。暗く煙って、展望できない展望台でした。虹の松原は、黒っぽい帯に見えました。

が小康状態になったころ、鏡山員の、田中木綿子さんから虹ノ松原を望む展望台に着きました。ムリヤリ写したのが右の写真です。唐津湾は小雨に煙って、その向こうの玄海は、全く眺望効かず。勿論、手前の松原も同様でした。

□旅行会社から派遣された添乗

- 最後に、お土産ランキングベスト3を紹介。
- 第3位 海産物
- 第2位 焼物
- 第1位 お菓子

やはり、定番でした。噂の「カスドース」は珍味ではありませんが美味ではありませんでした。



**ゴルフ**

2ラウンドツアーにジंकクス健在  
1・2月  
自主トレでレベルアップを

第35回コンペは一昨年より恒例となったツアーコンペで、作州武蔵CC(岡山)で行った。中国山地にありながら、丘陵に広がる雄大なコースで播磨・美作・因幡の3コース27ホール50万坪のスケールがある。

播磨・因幡と美作・因幡の2ラウンドでコンペを実施した。

コース併設のホテルは、天然温泉が湧出し、剣豪宮本武蔵の生誕の地に近く豪快な雰囲気の中でプレイとなった。

二日とも好天に恵まれ、気温も20℃を超え絶好の日和でした。ところが、初日1アンダーのトップが上がってみれば9オーバーの4位。初日2オーバーが、6アンダーで優勝し一昨年のジंकクスは健在だった。

第36回は、地元安芸CCに戻り、3名の新人メンバーも加わって6組のコンペになったが、優勝ラインは5アンダーであった。

第37回は、二十世紀最後の記念すべきコンペになり、ホームコースに舞台を移した。どうしたのか、距離とグリーンに悩まされ全員がオーバーパー。その中で、参加2回目での優勝は若さかな。...

次回第38回は、3月に開催。それまでは自主トレに励んでいただきます。

第35回コンペ 10/12.13 武蔵CC			第36回コンペ 11/27 安芸CC			第37回コンペ 12/14 賀茂CC		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	植木	-6	1	大和	-5	1	牛田	+3
2	相馬	+7	2	広瀬	-1	2	嵐	+6
3	山内	+9	3	杉山	-1	3	山口	+8
4	大和	+9	4	相馬	+1	4	山内	+8
5	嵐	+10	5	山口	+2	5	小林	+8
6	徳永(幸)	+14	6	山内	+2	6	山口(春)	+8
7	出口	+15	7	徳永(文)	+2	7	車角	+9
8	山本	+15	8	牛田	+2	8	植木	+9
9	杉山	+16	9	出口	+3	9	明石	+9
10	山本(W)	+18	10	小谷	+3	10	松本	+10
11	車角	+20	11	増本	+4	11	徳永(文)	+11
12	相馬(W)	+26	12	松浦	+5	12	山本	+12
13	西尾	+32	13	車角	+6	13	杉山	+13
14	佐々木	+52	14	山本(W)	+6	14	出口	+16
			15	井上	+6	15	徳永(幸)	+20
			16	小林	+7	16	大和	+20
			17	森本	+7	17	増本	+22
			18	嵐	+8	18	佐々木	+24
			19	佐々木	+8			
			20	片山	+9			
			21	川上	+9			
			22	西尾	+9			
			23	山口(春)	+11			
			24	山本	+17			
			25	相馬(W)	+29			
ニア ピン	大和・杉山・相馬(W)・出口		小谷・杉山			出口・嵐		



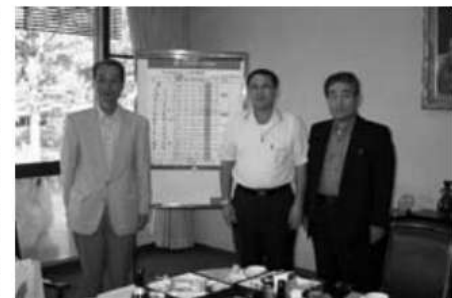
美作コース1番(左)と因幡コース1番(右)

お断わり  
ページ(6面)に  
同好会のご案内は紙面の都合で  
移しました。

21世紀幕開け  
**新春 ボウリング大会**

とき 1月28日(日)  
ところ 賀茂ボウル(西条町)  
集合 午前9時40分(競技開始 10時)  
競技 ハンディキャップ方式  
ゲーム 2ゲーム(合計点で順位決定)  
表彰 優勝&飛賞に賞品  
参加費 2000円(靴使用料含む)

どなたでも参加できます。お申し込み・お問い合わせは社友会又は、ボウリング同好会推進リーダーの吉岡さんまで。



第35回(左)と第37回(下)の入賞者



ボウリング

二〇〇〇年度の活動  
『忘年会』で締めくくる

な料理を前に、冷えたビールで乾いたノドを潤し大いに語り、食べ、一年間の健闘・健康に感謝して昼食会を終了。

昨年最後の12月例会は、忘年会を兼ねて開催。

参加者十三人（内会員夫人三名）

で午前10時から2ゲームの練習を行って一汗かき、お腹の減ったところで忘年会に移る。

会場は一昨年、東広島市西条町に誕生した『ホット カモ』。豪華？

期待できる。引き続き入浴会に移り、各人が温泉でそれぞれのリラックスタイムを過ごし、流れ解散で一年の締めくくりとした。ちなみに、当同好会の会員数は二人に増え、二十一世紀幕開けの今年も、別項でご案内の「新春ボウリング大会」を皮きりに更なる活動が期待できる。

ウォーキング

グラウンドゴルフもメニューに

お正月元旦は 初日の出遥拝登山

10月度第1回の“あるこう会”では東広島運動公園近くから、広島C西条コースの中も歩いて、福成寺

まで歩きました。当初は山に登らず麓の三永歴史民族資料館で、折り返す予定でしたがコースを変更しました。西条町の北半分と八本松の中央部は、7月の例会・竜王山登山で展望していたことから、西条のさらに南も展望しようと、この日は山道を含め16kmのウォークになりました。第2定例会では、シャープ健保と合流し広島空港隣の森林公園と周辺の10kmをファミリーを交えて歩きました。



11月4日 吉備津神社の回廊にて

11月第1回は、新見市の井倉峽の紅葉を見ながら散策する計画でしたが、紅葉はまだまだ先のようでした。帰途、吉備津神社に立ち寄り国宝を見学しました。

第2定例会は、グラウンドゴルフを頂きました。12月は定例会は1回、新年にはお世話でグラウンドを確保いただき、また、山田支部長には飛び入り参加

12月は本部同好会と交流

パソコン

体験・経験を公開し情報を共有する

10月度のテーマは、『名刺をつくる』、11月度は『年賀状をつくる』でした。パソコンで、自分の希望する作業をしようとする時、相応するアプリケーションが必要で、有償で購入するとしても、マシンと自分にとって最も望ましく、相応しいのはどれか決めるのも難しい問題なのです。勿論、高価でもありませんから、と

12月例会では実施しました。本部同好会には、車角が出席し広島同好会には、脇田東作氏が出席

りあえず体験する、ほかのソフトも経験してみても必要で、そんな角度から、お互いの体験を語り合うことも大切と思います。そんなことで、社友会本部のパソコン同好会との交流と、意見交換を12月例会で実施しました。



写真上

正面右が太田顧問、石井会長（中）、脇田さん（左）。（12月19日・本部）本部では、会員数多く例会は原則として情報の交換が中心です。一方、困ったことが発生すると、Eメールで対応策が連絡できる仕組みができています。

写真下

WORDを使って、年賀状を作成したサンプルを説明する脇田さん（12月20日 広島）。

平成十二年度 会社との懇談会

パーソナル通信  
事業規模大きく拡大へ

会社との懇談会は定例的に年1回開かれます。平成十二年は、諸般の都合から当初予定の十月からずれて、十二月十五日に開かれました。会社の現況を説明いただく過程で、説明された数字の多くはすでに公表されている平成十二年上期の中間決算と重複しますから、この報告には数値データは記載いたしません。

◇中間決算について

当事業本部の3事業部では、パーソナル通信事業部のみ、大きく伸長した。「シャープレの携帯」は今、ユーザの認知度・評価も高まり業界の注目度も変わってきた。

息は抜けないが、挑戦的に更なる飛躍を図りたい。

◇下期以降の商品戦略

全社的に見れば、商品の次世代化を、従来の延長線にない独創的新規化を進める。総体的にPHSは需要が縮小し、いまや、「携帯」は百花揺籃。その「携帯」を例にするなら、まず需要の中心に開発ターゲットを置く。他社との競合に負けない特徴を、独自技術で付加する。タイプの多様化を推進し、併せて商品進化のスピードを上げ開発周期の短縮を図る。

世界規模でみると、ガリバーのキアをはじめ、規模の差は歴然として、さしあたり、世界ランク十位以内が挑戦する目標だが、勝ち続けなければ追いつけないわけで、自ら総力を発揮し併せて多面的ご支援をいただいで乗り切りたい。

◇その他

事務所前のご来客駐車場に、社友会枠(3台)を設置。

雑談では、会社の株価推移と評価について意見交換。また、組織・人事異動について情報回付を要請。

◇これからが正念場  
現在、3生産拠点で3シフト体制をとり50万台・月の水準にある。計画はさらなる増強が必要で一方開発には、全社の支援を受け海外も睨んだ商品開発体制を備えつつあ



息は抜けないが、挑戦的にさらなる飛躍をはかる、と語る松本パーソナル通信事業部長。



会社の出席者  
松本パーソナル通信事業部長(中)  
庄野総務部長(右) 中野総務部副参事(左)

社友会 広島支部 同好会のご案内

月例会・大会へのご参加は御気軽に、推進リーダーにご連絡を。

同好会名	推進リーダー	月例会・会合など	場所	会員数	会費等
囲碁・将棋	木船 久	リーダー及び浅島氏日直当番日	社友会室	5名	なし
ウォーキング	濱川 康	第1・第3土曜日	近郊ルート	5名	参加実費
ボウリング	吉岡 秀卓	第2土曜日・大会は年3回	賀茂ボウル	12名	参加実費
釣り	新田 保	年5回程度の船釣り	瀬戸内海	12名	参加実費
パソコン	車角 裕規	中旬の水曜日	社友会室	12名	なし
ゴルフ	嵐 定明	1~2月を除く例月	近郊コース	25名	年会費・参加実費

お試し参加、スポット参加もご遠慮なく

# 家屋倒壊 走る亀裂



断層の要注意地域  
予想を超える被害  
液状化埋め立て地無残

新竹御和次き運休  
停電も県で1万戸

# 続く余震 眠れぬ夜



公民館に住民避難

避難の危険  
丸じゅうまる



## 地震お見舞いへの御礼

片桐 縣二さん No.501

(鳥取県境港市在住)

平成十二年十月六日午後一時三十六分頃、突然太地が揺れ動いた。時間にして四〜五分間に感じた。それは、私が小学生の頃以来の出来事でした。

『鳥取県西部地震』二十世紀最後の地震。震源地が内陸の山間部であったこと、昼過ぎであったことも幸いして火災もなく、倒れた家屋も少なく震度6にしては被害が少なく死者もなかった。阪神淡路地震と同程度の地震でありながら、被

害が少なく幸いでした。

この山陰の山奥が、地震のために有名になった反面、地域としては観光客が減り不景気風が吹いているようです。名物のカニ漁も境港の荷揚げ岸壁が壊れ、打撃を受けています。

でも、観光地は被害も少なく、年末年始に向け元気に営業を行っています。余震がまだ時々ありますが、心配なさそうです。

社友会の皆様には、大変ご心配をいただき誠に有難うございました。早々にお礼を申し上げますればと思いつながら遅くなりました。

寒さ厳しい折り、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。先ずは御礼まで。

平成十二年十二月

中島 一さん (No.1252) のメール

お正月は、いかがお過ごしですかとEメールで、数人の方々に尋ねました。  
「ご連絡をいただいた中から、「遠隔地会員はいま」に登場いただいた中島さんのメールを紹介します。

は出来ていません。

今年もプランの立案と若い人へのアドバイスができればと思つてます。

こんな中で、ますます情報活動が重要な位置を占めてきてますが一方で人間性を無くして行っていることも感じます。

「情に掉させば流される」といいますが、流されてもいいから、そんなお手伝いができればいいなあと思っている今日この頃です。

あけましておめでとうございます。

早々の賀状メールありがとうございました。今年こそ新しいことに挑戦してみようと思いましたが多分不発に終わると思います。

禁煙とか！釣り・ゴルフ……

現在、週二回のお勤め(顧問)、年六回のボランティア参加が主なことで、いずれもたいしたこと

# 社友短信

◆吉久清春さん

十二月二十二日帰国。しかし自宅に帰ったのは二十四日でした。

フィリッピンのマニラから約50km離れた、モンテンルパに滞在十一ヶ月。その間一度も一時帰国は無かったそうです。JODCの仕事は今回で終わったと思うが、帰国後の宿題・レポートのま

◆新山和行さん

お正月は、お孫さんも含めて八本松で過ごしたそうです。ところが本人は、海外出張が迫っているとかで四日には早々に横浜へ移動して、現在は一人です、と奥さん。  
奈良と横浜の孫達で、賑やかな面はあったものの孫の風邪の介抱で、少々疲れましたがとも話されていきました。

とめが残っているようで、まだまだ気の抜けないお正月のようでした。

## 新会員紹介

住所・電話番号は個人情報のため削除しています



牛田 晴雄さん  
会員No.1756  
739-0267



清水 敏治さん  
会員No.1757  
739-0151



篠永 秋市さん  
会員No.1762  
739-0146



角田 弘治さん  
会員No.1791  
739-0044



松本 全布さん  
会員No.1808  
739-2115

## 編集後記

□会報第十七号(新年号)をお届けします。今号は発行準備に手間取り、新年になってからの編集作業になりました。  
□急げ急げでやった仕事は、多くの場合完成度が低くなりますが、この場合も例外にはなりません。  
□昨年十月の鳥取県西部の地震で、寄せられた多くのお見舞いに、片桐さんからお礼の文章を挿入しました。  
□当初の予定原稿を掲載せず、もっと整理すべき原稿は冗長のまま、ひとえに広報担当の責任です。ご容赦を。(裕)